

**健康
ぷらざ**

生理前のイライラ

—月経前症候群—

東京電力病院 院長 田邊 清男

企画：
日本医師会

No.387

ひとりで悩まないで

生理の3～10日前から、おなかが痛い、イライラする、何もする気がしない。こういう悩みはありませんか？生理になったり、生理が終わると、これらの症状は消える。でも、次の生理前にまた同じような症状がでるとしたら、月経前症候群かもしれません。これは、多くの女性がひとりで悩んでしまいかちな、実は病気です。

記録をつけよう

診断は、生理にともなって繰り返すかどうかがポイントになります。どんな症状が出るのか、2ヵ月ほど記録をつけましょう。どのような食生活しているのかといったことも記録しておくと、診断と治療の役に立ちます。受診のときに持参するとよいでしょう。

激しい不安感に襲われたり、身近な人に強くあたってしまったり、どうしようもなく気分が落ち込んでしまうなど、自分の気持ちがコントロールできないようなときは、できるだけ早い医師の診察が必要です。迷わずに受診しましょう。

こんな症状が

「おなかが痛い」「胸がはる」「腰が痛い」「頭が痛い」「イライラする」「怒りっぽくなる」「眠くてたまらない」「気分が落ち込む」など、人によって症状はさまざまです。

生理前には4割の人になんらかの症状があるものですが、日常生活に困るほどつらい場合は、我慢しないことです。まずはかかりつけの医師に相談してみましょう。治療によって症状を軽くすることができます。治ることもあります。

